

事務事業マネジメントシート (21年度実績と22年度計画)

22年度予算確定後 平成 22 年 3 月 26 日 作成
 21年度決算把握後 平成 22 年 5 月 21 日 作成

事務事業名		高後山雨水幹線整備事業			<input type="checkbox"/> マニフェスト関連	<input type="checkbox"/> 全庁横断課題関連	<input type="checkbox"/> 集中改革プラン関連							
総合計画体系	政策	1	人々が安全に安心して暮らせるまちづくり		所属部	水道局	課長名 久留 伸二							
	施策	1	危機管理・防災対策の推進		所属課	上下水道課	担当者名 松永 博貴							
	基本事業	1	災害の未然防止対策		所属班	管理工務班	(内線) 1197							
予算科目	会計	50	款	2	項	1	目	2	事業連番	10242	法令根拠	下水道法・都市計画法	成果優先度評価結果	3
終了、開始年度	<input type="checkbox"/> 21年度で終了 <input checked="" type="checkbox"/> 22年度から開始			事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input type="checkbox"/> 単年度繰返(開始年度 年度)			<input checked="" type="checkbox"/> 期間限定複数年度 (21 ~ 23 年度)			コスト削減優先度評価結果	-		

★事務事業の概要(具体的なやり方、手順、詳細。期間限定複数年度事業は全体像を記述)

【事業の内容】 (開始した背景・きっかけ・今後の状況変化を含む)	公共下水道雨水計画に基づき函渠を整備することにより、大雨による雨水があふれることを防ぐ事業である。2カ年計画で整備する。19年度:実施設計を実施した。21年度:385mを布設 22年度:390mを布設 公共下水道雨水計画に基づき、大雨による災害等から市民の生命と財産を守るため、公共下水道雨水計画に基づき、全体計画の約49%を整備してきている。近年、雨水による被害は、起こっていない。今後、雨水による被害が、起こり得る可能性がある。須屋線改良事業の進捗状況によっては、事業の変更が考えられる。
【業務の流れ】	①須屋線改良事業との調整②工事設計書の作成③道路占用申請④工事請負契約の締結 ⑤雨水函渠工事⑥竣工検査⑦支払い事務
【主な予算費目】	工事請負費、委託料
【意見や要望】 関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられているか?	対象地域住民から早期着手の要望が寄せられている。

1 現状把握の部(DO, PLAN)

(1) 事務事業の目的と指標	
① 手段(主な活動) 21年度実績(21年度に行った主な活動)(DO)	22年度計画(次年度に計画している主な活動)(PLAN)
雨水函渠工事の実施	雨水函渠工事の実施
④活動指標(事務事業の活動量を表す指標)=①の指標	(単位)
⇒ア 函渠布設延長	m
	イ 整備面積
	ha
② 対象(誰、何を対象にしているのか)*人や自然資源等	⑤対象指標(対象の大きさを表す指標)=②の指標 (単位)
対象区域(財産)と市民	⇒ア 対象世帯数
	戸
③ 意図(この事業によって、対象をどう変えるのか)	⑥成果指標(意図の達成度を表す指標)=③の指標 (単位)
浸水被害から守られる	⇒ア 浸水想定戸数
	戸
*⑥成果指標設定の理由と平成22年度目標値設定の根拠 これまでの降雨実績と、工事箇所地形等により設定。	

(2) 各指標・総事業費の推移		単位	19年度 実績(決算)	20年度 実績(決算)	21年度 目標(当初予算)	21年度 実績(決算)	22年度 目標(当初予算)	23年度 予定	24年度 見込
④ 活動指標	ア	m			385	385	390	40	
	イ	ha			3.1	3.1	2.5	0.1	
⑤ 対象指標	ア	戸			44	44	44	44	
	イ								
⑥ 成果指標	ア	戸			10	10	0	0	
	イ								
投入量	事業内訳	国庫支出金	千円		57,500	49,762	12,500	1,300	
		都道府県支出金	千円						
		地方債	千円		51,750	33,100	11,800	1,230	
		その他	千円		5,750		700	70	
		繰入金	千円			42,463			
		一般財源	千円						
	(A) 事業費計	千円	0	0	115,000	125,325	25,000	2,600	0
	(A)のうち指定経費	千円							
	(A)のうち時間外、特勤	千円							
	人件費	正規職員従事人数	人			5	4	3	3
延べ業務時間		時間			135	1,263	1,200	100	
(B)人件費計		千円	0	0	537	5,027	4,776	398	0
トータルコスト(A)+(B)		千円	0	0	115,537	130,352	29,776	2,998	0

総トータルコスト 全体計画	
21 ~ 23 年度	83,000
(期間限定複数年度のみ記載)	74,700
	8,300
	166,000
	10
	135
	537
	166,537

事務事業名	高後山雨水幹線整備事業	所属部	水道局	所属課	上下水道課
-------	-------------	-----	-----	-----	-------

2 評価の部 (SEE)

*原則は21年度の事後評価、ただし複数年度事業は21年度実績を踏まえての途中評価

目標達成度評価	①21年度目標達成度評価 事務事業の前年度実績は前年度目標値を達成したか、未達成の場合その原因は？	<input checked="" type="checkbox"/> 達成した	<input type="checkbox"/> 達成しなかった ⇒【理由】 ↷
	②22年度目標達成見込み 事務事業の本年度目標値に対して本年度の見込みはついているか？	<input checked="" type="checkbox"/> 目標達成見込みあり ⇒【理由】 ↷	<input type="checkbox"/> 目標達成は厳しい ⇒【理由と対策】 ↷
有効性評価	③成果の向上余地 次年度以降にこの事務事業の成果を向上させる余地はあるか？成果が頭打ちになってないか？	<input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がある ⇒【理由】 ↷	<input type="checkbox"/> 向上余地がない ⇒【理由】 ↷
	④類似事業との統廃合・連携の可能性 目的を達成するには、この事務事業以外他に方法はないか？類似事業との統廃合ができるか？類似事業との連携を図ることにより、成果の向上が期待できるか？	<input type="checkbox"/> 他に手段がある ↷ (具体的な手段、事務事業) <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができる ⇒【理由】 ↷ <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができない ⇒【理由】 ↷	<input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がない ⇒【理由】 ↷
効率性評価	⑤事業費の削減余地 成果を下げずに事業費を削減できないか？(仕様や工法の適正化、住民の協力など)	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】 ↷	<input type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】 ↷
	⑥人件費(延べ業務時間)の削減余地 やり方を工夫して延べ業務時間を削減できないか？成果を下げずにより正職員以外の職員や委託でできないか？(アウトソーシングなど)	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】 ↷	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】 ↷
公平性評価	⑦受益機会・費用負担の適正化余地 事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか？受益者負担が公平・公正になっているか？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】 ↷	<input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である ⇒【理由】 ↷
	⑧行政の役割分担の適正化 事務事業のやり方や手段においてこれまでの行政、市が行ってきた範囲を住民や地域・団体に移行出来ないか？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】 ↷	<input checked="" type="checkbox"/> 役割分担は適正である ⇒【理由】 ↷

3 評価結果の総括(SEE) ※事務事業全体の振り返り、成果及び反省点等を記入

<p>21年度は順調に事業が進んでおり、22年度も事業完了を目指し雨水整備を進めていく。</p>
--

4 今後の方向性(事務事業担当課案)(PLAN)

<p>(1) 今後の事業の方向性(改革改善案)・・・複数選択可</p> <p><input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 目的再設定 <input type="checkbox"/> 事業統廃合・連携 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(有効性改善)</p> <p><input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(効率性改善) <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(公平性改善)</p> <p><input type="checkbox"/> 現状維持(従来通りで特に改革改善をしない)</p>	<p>(2) 改革・改善による期待成果 (廃止・休止の場合は記入不要)</p> <table border="1" style="width: 100%; text-align: center;"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td>○</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持	○			低下			
				コスト																		
		削減	維持	増加																		
成果	向上																					
	維持	○																				
	低下																					

(3) 改革, 改善を実現する上で解決すべき課題(壁)とその解決策

--